

北関東障害者就労創出 プロジェクトニュース



心と力をあわせ...
助け合い...協同

発行元：北関東障害者就労創出PJ
〒336-0018 さいたま市南区南本町
2-5-15M・Mオフィス201号
TEL048-844-0085
センター事業団 北関東事業本部
NO34.2014.8 発行

久しぶりの通常てとてとての会7月19日開催！



4～6月の3回「ピアサポート講座」を終えて、通常のとてとての会が久しぶりに開催されました。会場も2月の大雪の影響で使用できなくなっていた元の会場での開催です。今回は、以前からのメンバーに加え「ピアサポート講座」に参加してくれた仲間も来てくれました(#^.^#)

恒例のハッピーな出来事を発表しよう！^{♡♡♡}

新しい仲間を迎えてスタートしました♪ 皆のハッピーな出来事を発表。「最近体調が良い♪」「当事者の人たちと協同で居場所づくりをはじめた♡」「上尾市でのピアサポート講座に応募した♡」「あまり打ち解けることができなかった人がいたが、心を込めて挨拶をするとよい関係になると思った！」「途絶えていた子供たちの情報が入るようになった！孫ができる♡」「釣りに行き、たくさん釣れた♡」「セミの鳴き声に夏を感じた♡」「入院中の弟に引きこもりの人の気持ちを書いた本を、自分の気持ちの部分にしるしをつけて欲しいと渡した。主治医からは難しいかもと言われたが、しるしがついて返ってきた！♡」など、嬉しくなる近況が語られました (*^_^*)



3回シリーズピアサポート講座を終えて…皆の感想 🧠🧠

てとてとての会で主催したピアサポート講座を振り返りました。

■ピアサポートを今後も学びたい。

■話す場所を求めていると感じた。話す場所があるとネットワークが広がると思う。

■ピアサポートという言葉を知らなかった。参加してピアサポーターに関心を持った。

今後も勉強していきたい。相川先生の授業はとても分かりやすかった。先生と出会えてよかった。

■ピアがピアのサポートをどこまでできるのかと考えた。東京の愛隣会がピアサポート講座をやっている。ピアがピアをするのは良いと思うが、てとてとての会がピアサポートを事業にするのは厳しいのでは。

■ピアサポート講座は他で受けたことがあるが、相川先生の講座が一番わかりやすかった。今後、お話ししましょう会を設けたら良いと思う。

■中学の先生との出会いから過去を背負っていきっている。賢くしなければ生きていけない。いやなことを引きづってはいけないと思った。

■病気の快復がだいぶよくなっているが、まだ6割。自立できない自分にひいてしまう。できが悪くても自分で受け入れられるようになれば気持ちが楽になる。自分を肯定できるようにしていく場が必要だと思う。

■家族は病気のことはかり見ていて本人を苦しめている。一歩、間を置き相手を見ることが大事だと思う。距離間をもっと家族には必要。ピアサポート講座などで障がい者の心理を学んだ人が支援に入ってほしい。身近な人が学んでほしい。

■人はリカバリーできるのだと思った。体験談を聞いて良かった。人間はリカバリーしながら生きていくと思った。

今後のてとてとての会の方針について… 👍👍👍

居場所を作り、体調が悪くてもできるような手仕事を、退院後の生活の引きこもり支援したいなどの意見が出ました。現在、てとてとての会は体の調子で継続した参加が難しいメンバーもいます。このような状況の中、皆で仕事おこしをしようというのは中々難しく、軸になる人も必要になってきます。てとてとての会の今後の役割として、当事者同士の交流ができる居場所、皆で学べる学習会を行いながら、その先に協同労働での仕事おこしに迎えるような長い目で会を考えていこうという話になりました(^.^)

次回てとてとての会は

9月13日 13:00～労協センター事業団北関東事業本部にて

